



整備された堆肥利用施設（乙事）

学校・社会教育方針は

環境づくりが大切

質問 学校教育と社会教育の方針は将来に確かな希望が持てるか。

答弁 色々な懸念はありますが、学習者の立場も考え、子供達の目が輝く



小林 市子 議員

「心を訪ねる教育」「子供達が自ら教育する」ような環境づくりが大切と考えています。

学習という言葉を大事にし、子供達を見据えて願いを聞き取る、それに対応していくことがこれからの教育方針になくてはならないものだと感じています。また、それぞれの個性にあった生涯学習も大切にしていきたいと考えます。

質問 有害鳥獣やその他の理由による「不耕作地」を食い止める手立ては。

答弁 町の農地は10年間で15%減少しました。耕作しない農地は、沢筋など基盤整備が実施さへる支援をしていきます。

不耕作地を食い止める手立ては
集落営農組織の立ち上げを

大橋 利彦 議員

質問 「家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」の11月からの完全実施をひかえ、家畜糞尿の管理基準を満たすために、どう取り組んでいるか。

答弁 対象農家は27軒、施設不足の農家は6軒ありますが、未整備農家はありません。

家畜保健衛生所・農業改良普及センター・県地方事務所・JA長野中央会

・JA全長野・JA信州諏訪と町が巡回指導を行いました。県の補助を受けて簡易処理装置の展示を行い、農家の参考にしていただきました。

作物を作っている農家（耕種農家）との連携により堆肥利用促進をPRしています。

教師に何を求め支援すべきか

教育愛と教育環境の整備

質問 「教師らに何を求め支援すべきか」について教育委員会でのような協議がされたか。

答弁 教師には公務員として、教育愛と法の遵守の2点を求めました。

教師への支援は、子供の指導に専念できる施設・物的な環境から精神的な環境まで幅広く教育環境を整備し提供することと考えています。当町のすばらしい教育環境を守ってゆくことが大事なことであると考えています。